

平成 21 年 1 月 19 日

建設環境工学科長 見村 博明 様

理工学部長 井浦 雅司

理工学部事務部長 徳 永 勉



「JABEE 審査結果報告と理工学部への要望」について（回答）

平成 20 年 12 月 4 日付文書にて依頼いただきました事項につきまして、下記のとおりご回答いたします。

記

1. バリアフリーについては、障害を持った学生への対応が各種なされているが、今後、一層の充実が望まれる。

鳩山キャンパスのバリアフリー化については、平成 19 年度から 2 年計画で実施し、平成 20 年度までにバリアフリー新法に基づき必要最低限の箇所のバリアフリー化を行いました。

バリアフリー化の一層の充実については十分認識しておりますので、今後、文科省からの助成金受給等の可能性を踏まえ、関係部署と調整の上、段階的に対応を図ることについて鋭意検討を進めることといたします。

2. 相談教員の制度、各種奨学金の制度については継続的な改善が望まれる。

学生相談室の対応については、特定の相談員に相談が集中しないよう、カウンセラーの増員等により改善を図ることについて、関係部署との調整を行うことといたします。

各種奨学金制度の改善について、日本学生支援機構からの奨学金は、先方が定めた枠での募集となるため、枠の増加は困難な状況にあります。学内の奨学金制度は、昨今の社会状況等を踏まえ、より多くの希望者に対応できるよう、改善方策について関係部署との検討を進めることといたします。

3. 編入に際しての単位の包括認定については、引き続き慎重に行うよう改善が望まれる。

編入学生の単位認定方法については、包括認定を基本とし、必要に応じ科目対応での認定を行っております。今後は、単位制度の実質化及び JABEE からの指摘等を踏まえ、「科目対応認定を基本とし必要に応じ包括認定を行なう」ことについて、教学委員会等において至急検討を行うことといたします。

以上